

2016年10月31日

図書館流通センターと大日本印刷、日本電子図書館サービスと資本提携 － 新刊本やベストセラーなど生活者に人気の高いコンテンツを電子図書館に提供 －

株式会社図書館流通センター(以下:TRC)と大日本印刷株式会社(以下:DNP)は、電子書籍コンテンツの普及をさらに推進するため、株式会社日本電子図書館サービス(以下:JDLS)と、2016年10月31日に資本提携しました。

株式会社紀伊國屋書店、株式会社 KADOKAWA、株式会社講談社の出資によって設立された JDLS は、国内の多くの有力な出版社から電子書籍の提供を受けており、電子図書館に対して幅広いジャンルの面白く優良な電子書籍コンテンツを販売していくことなどを目指しています。TRCはJDLSと協力し、公共図書館や学校図書館などへ電子図書館サービスの普及を加速させていきます。



【提携の背景】

公共図書館の受託運營業務で高いシェアを持つ TRC は、DNP および大学図書館に強みを持つ丸善雄松堂株式会社というグループ会社 2 社と共同で、2010 年に電子図書館システムの提供を開始しました。2014 年からは日本ユニシス株式会社の協力のもと、クラウド型の電子図書館サービスを提供しており、同サービスは2016年10月現在、約50の自治体の公共図書館で利用されています。

本サービスで利用できる電子書籍として、従来通り電子書籍の流通ライセンス事業を手がける DNP グループの株式会社モバイルブック・ジェーピーが、文芸・ビジネス・言語学習・専門書分野を中心に、出版社から利用許諾を得た約 25,000 タイトルを揃えています(提供条件は従来通りです)。

今回の資本提携により、TRC は、JDLS が強みを持つ新刊小説やライトノベル、話題の実用書などのタイトルをラインアップに加え、公共図書館だけでなく、高等学校や中学校の図書館への電子図書館システムの導入を進めていきます。

【JDLS と協力して提供する電子図書館サービスについて】

電子図書館の一層の普及に向けては、生活者が読みたいタイトルを揃えることが重要です。JDLS は、「LibrariE(ライブラリエ)」という独自の電子図書館サービスを展開しており、閲覧可能な回数や期間に制限を設けるなど、著作権者の利益に配慮しながら、新刊本やベストセラーなど、生活者に人気の高いコンテンツを電子図書館に提供する取り組みを進めています。

また、自社の株主でもある KADOKAWA や講談社をはじめ、出版各社と連携し、若年層に人気の高いライトノベルなどの魅力的なコンテンツを数多く取り揃えていますので TRC として、今回の資本提携により JDLS 社の電子図書館サービスおよびコンテンツをラインアップに加えることで、一般生活者へのサービスを高めていきます。取り扱うタイトル数は、JDLS から今回提供されるものを合わせて約 4 万となります。

さらに、DNP の電子図書館サービスを JDLS へライセンス提供するなど、連携を深めて電子図書館サービスの普及を加速させていきます。

【出資の概要】

- 出資額 : 1.1 億円 (TRC : 0.9 億円、DNP : 0.2 億円) * 第三者割当増資による
出資比率 : 株式会社紀伊國屋書店 (25%)、株式会社 KADOKAWA (25%)、
株式会社講談社 (25%)、DNP グループ (25%)
出資時期 : 2016 年 11 月 4 日
役員 : 取締役、監査役各 1 名を DNP グループから派遣

【今後の取り組み】

2018 年度までの累計で、8 万タイトルの販売および 200 自治体での電子図書館サービスの導入を見込んでいます。

TRC は今後も、電子図書館サービスをはじめとする図書館向け事業に注力し、「知のインフラ」としての図書館のさらなる発展に貢献していきます。

株式会社図書館流通センター	本社:東京	社長:石井 昭	資本金:2 億 6600 万円
大日本印刷株式会社	本社:東京	社長:北島 義俊	資本金:1,144 億円
株式会社日本電子図書館サービス	本社:東京	社長:高橋 裕司	資本金:1 億 6500 万円
株式会社モバイルブック・ジェーピー	本社:東京	社長:野村 虎之進	資本金:1 億円

—以 上—